

1/27 **コスモホールに響き渡る!**
2019いなみ野音楽祭

1月27日(日)、「2019 いなみ野音楽祭」が稲美町立文化会館コスモホールで開催されました。

いなみ野音楽祭は、コーラスや合奏を通じて子どもから高齢者まで幅広い年齢層の交流を図り、音と文化とふれあいのまちづくりを目的として毎年開催しています。

今年の出演団体は、町内の小中学校、高等学校、稲美少年少女合唱団、あたご大学うたクラブなど、コーラスの部は15団体、合奏の部は4団体が出演しました。

美しい歌声が響く合唱と町内の中学、高校の吹奏楽部などによる素晴らしい合奏に、観客の皆さんは聴き入り、盛大な拍手が送られました。最後には、出演者と観客の皆さんが一体となり「ふるさと」を合唱し、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲吹奏楽部による迫力ある演奏

2/3 **稲美町婦人会 巻き寿司教室を開催**

2月3日(日)、稲美町婦人会主催の「巻き寿司教室」を、母里福祉会館調理実習室で開催しました。

「節分」に、その年の恵方に向かって巻き寿司に丸ごとかぶりつくと「福」を呼ぶと言われています。参加者の皆さんは、節分や恵方巻きの由来を楽しく語りながら、7種類の具材と酢飯を用意し、最後は巻きすで「福を巻き込む」ように1本1本丁寧に巻き、とても美味しそうなお恵方巻が完成しました。



▲1本1本丁寧に恵方巻を作りました



▲皆さんで協力して具材を準備する様子

2/9・10 **稲美町指定民俗文化財**
野寺山高菴寺鬼追式

鬼追式は、五穀豊穡や無病息災を願い毎年2月9日と10日に行われ、赤鬼は毘沙門天、青鬼は不動明王をかたどった面をかぶり、野寺地区の独身男性が鬼に扮します。2体の鬼は、太鼓とほら貝の音に合わせて息の合った舞を披露し、手に持った燃えさかる松明を境内に勢いよく投げつけます。鬼の持つ松明は、玄関に飾ると「災難よけ」になるといわれており、観客の皆さんが歓声をあげながら、投げこまれる松明を奪い合うように拾い上げていました。



▲松明を勢いよく投げつける青鬼



▲赤鬼の登場に歓声があがります

1/5 **全国席書大会で稲美北中学校の生徒が開会式で宣誓を行いました**

1月5日(土)、日本習字全国席書大会神戸大会が兵庫県立文化体育館で開催されました。

大会では参加者を代表し、稲美北中学校2年生の岡崎萌生さんと仲西優奈さんが「『正しい文字、美しい文字』を目標に、日頃の練習の成果を発揮し、正々堂々と力を尽くして作品を書き上げることを誓います」と力強く宣誓しました。

参加者は真剣な表情で席書に臨み、大会会場は集中力と熱気にあふれていました。



▲開会式での宣誓の様子

1/12・14 **伝統行事「どんど(とんど)」が行われました**

古来から伝わる伝統行事「どんど(とんど)」が、1月12日(土)にまちづくり加古の会、なんなんまちづくりの会の主催で、1月14日(月・祝)にはここ豊かなまちづくり東と東小校区子ども会の共催で開催されました。

「どんど(とんど)」の火で燃やした書き初めが、高く舞い上がるほど字が上達すると言われており、各小学校の児童の皆さんの書き初めも高く舞い上がっていました。また、この火で焼いたお餅を食べると、1年間無病息災で過ごすことができるとも言われています。



▲やぐらに火をつける様子
(なんなんまちづくりの会)



▲勢いよく燃え上がるやぐら
(まちづくり加古の会)



▲無病息災を願いながらやぐらを見守る住民(ここ豊かなまちづくり東・東小校区子ども会共催)

1/20 **協働まちづくり100人会議を開催しました**

1月20日(日)、「稲美町協働まちづくり100人会議」を稲美町立コミュニティセンターホールで開催しました。当日は、平成30年度にまちづくり活動サポート補助金を活用して活動をされた団体のうち、「いなそう福祉ネットワーク委員会」、「いなみハンドメイドフェス実行委員会」、「ふれあい収穫祭実行委員会」の3団体に活動内容を発表していただきました。

稲美町では、住民団体が取り組む自発的なまちづくり活動に対し、その活動に要した経費の一部を補助する「まちづくり活動サポート補助金制度」を実施しており、住民の皆さんの手によるまちづくり活動を進めています。

発表いただいた3団体は、地域の抱える問題や目指す目標について、自分たちの得意な分野やユニークな発想で解決に向けて取り組んでおられ、活動の成果と今後の課題を参加された皆さんと共有しました。



▲活動内容の発表の様子